



第139号 編集発行 愛知学院大学 事務局 企画広報課 470-0195 愛知県日進市岩崎町 阿良池12 電話<0561>73-1111(代)

平成十五年度学位記授与式

社会の変化に挑戦する 勇気と努力を!

式辞(要旨)

学院長 小出忠孝

卒業生諸君、卒業おめでとう。大学開学五〇周年の記念すべき年に卒業する諸君に、本学を代表して心よりお祝い申し上げます。諸君の胸の中には四年間の雪の功成り、学位記を手にした喜びと共に、これから始まる新しい人生に對する希望に満ち溢れていることと思います。

学院大卒業の誇りを

新しい人生の門出にあたり諸君に先ず学院大卒の誇りをもって頂きたい。諸君が学んだ学院大は、一八二八年の歴史と伝統を持ち、現在七学部十四学科、大学院六研究科に学生一万三千名を擁する、中部地区で最大級の規模と充実した内容を誇る私立の総合大



諸君が明日から門出する社会は、二十一世紀四年目を迎える政治、経済すべてに不安感が漂っています。国際社会では米国の同時多発テロ以後、アフガン、イラクで対テロ戦争が続く、パレスチナでの紛争と共に世界平和を脅かしています。一方わが国は戦後六十年間、国際競争の場外に身を置き、一人平和を享受してきました。しかし今回のイラク戦争では国際社会の一員としての責任上、イラクの復興人道支援のため自衛隊派遣となり、復興支援の目的が速やかに達成され、一日も早く無事帰国出来る事を望むものです。一方私共は物質的豊かさを追求してきた半面、次の世代に

日本私学事業団の理事に 小出学長再任される

特殊法人改革に對する日本私立学校振興・共済事業団の体制整備で、小出学長は事業団理事に私大代表として再任された。私学の教育研究の充実と、全私学教職員員の短期・長期給付制度を含む共済事業は、私学発展のため責任極めて重大であり学長の活躍が期待される。

大きな課題を残すこととなり、地域環境、エネルギー、資源、災害等、地域規模の問題が深刻化しています。さらに最近、新型肺炎、鳥インフルエンザ等のウイルスからの攻撃の恐怖にも晒され、人類の健康、平和維持のため多くの難関を抱えた多難な年となっています。

景気の回復基調

バブル経済崩壊後長期低迷を続けた世界経済も、昨年以來回復基調が鮮明になっていきます。OECDは「今年の米

景気回復基調が鮮明になっていきます。OECDは「今年の米

景気回復基調が鮮明になっていきます。OECDは「今年の米

景気回復基調が鮮明になっていきます。OECDは「今年の米

常に向上心をもって



大学後援会会長 松田好旦

卒業生の皆さん、そして本日まで支えてくださったご父母の皆様へ、ご卒業心よりお喜び申し上げます。また、ご父母の皆様には、大学後援会活動についても、深いご理解とご協力を賜りましたこと、

卒業を祝して



歯学部同窓会会長 三輪 康

ご卒業おめでとうございませう。愛知学院大学各学部同窓会を代表して心からお祝いをいたします。又、同窓会の正会員となられた皆さんを心から歓迎いたします。皆さんを今まで暖かく見守ってこられたご父兄のお喜びもひとしおと拝察いたします。重ねてお祝い申し上げます。母校も文学部・心身科学部・商学部・経営学部・法学部・情報社会政

大学後援会を代表して厚く御礼を申し上げます。さて、明日から社会人として旅立ちをされます卒業生の皆さん、いま、日本経済は緩やかな回復基調をたどっているとはいえないものの、依然として厳しい状況下にあるのが実態であります。こうしたなか企業が求める人材像も当然厳しく、企業側が望む絶対水準に達しているかどうか重要なポイントとなり、個性豊かな創造力のある人材が求められています。人の成長が企業の成長といわれる今日、皆さんも社会人になってからも、常に学び、高い目標に向かって果敢にチャレンジしていただきたいと願っています。二〇〇五年には、この中部地区の二大プロジェクトといわれる愛知万博と中部国際空港の建設が、歯学部の七学部一四学科を数える中部地区でも有数の総合大学となり、ますます隆盛をきわめてまいります。また先輩の同窓生はあらゆる分野において立派な足跡を残されています。よき相談相手またよき友として皆さんの輝く未来に手助けをしてくれることと思います。本年度は大学院開学五〇周年を迎え、クリントン前米大統領を招いて特別講演会を開き、学生と一緒に多数の参加者が同じ時間を共有することができました。これは後世にも語り継がれていくことでしょう。社会は日々立ち止まることなく大きく前進するとともに前進していきまわす。その波に乗り遅れることなく地に足をつけて前進していただきたいと思っております。本学の建学の精神である「行学一体・報恩感謝」をよく理解し、実践して社会に果敢と意気込みを込めてお祝い申し上げます。また「知足」という言葉がありますが、青い

卒業生へ贈る言葉

四年間の学生生活を終えられ、めでたく学窓を巣立られる卒業生の皆様、栄えある門出を衷心よりお慶び申し上げます。これまでの学生生活は、ご両親をはじめご家族の経済的支援に支えられたものでした。これからは、皆様が社会人として、独立独歩の道を進んでいかれるのはなんでしょう。本当の意味での人生のスタートに立たれたということができま



文学部長 大野 栄人

す。愛知学院大学を卒業される皆さんに心からお祝いを申し上げます。皆さんがこれから活躍しようとするビジネス社会は、急速に変化しています。新しい技術が次々に起り、現在人気の商品もすぐ古いものになります。勝ち組の企業は絶えず他の企業がまねのできない技術と商品を追求め、環境の変化に柔軟に対応しています。インターネットやマイクロソフト社は、ライバルは自社の製品であると

考え、自社の最も優れた技術とを誇りに努力しています。皆さんもライバルは現在の自分自身であると考え、絶えず自身を磨き、鍛えてください。



商学部長 酒井 邦雄

皆さんがやろうとしていることを明確にし、大学生活で習得した知識をより磨き上げること、また経済環境の変化を的確に捉えることで、他の人とちよ

いえないのが現実です。このように今までの常識が常識でなくなるのが日常のようないのではありませんか。



経営学部長 芝 隆史

た牛丼が消え、鳥肉も同じ運命なのではとまで言われています。経済環境も薄日が見え始めたという見解もあります。中小企業を中心に決して明るい状況だとは

人生は修行の旅

皆様は、今日まで学問を通して、「華厳経」という経典には、「人生は修行の旅である」ということと存じます。これからは、その学ばれたことを社会の場で実践して頂かなくてはなりません。皆様は、今日まで学問を通して、「華厳経」という経典には、「人生は修行の旅である」ということと存じます。これからは、その学ばれたことを社会の場で実践して頂かなくてはなりません。皆様は、今日まで学問を通して、「華厳経」という経典には、「人生は修行の旅である」ということと存じます。これからは、その学ばれたことを社会の場で実践して頂かなくてはなりません。

いたるところにビジネスチャンスあり

皆さんがやろうとしていることを明確にし、大学生活で習得した知識をより磨き上げること、また経済環境の変化を的確に捉えることで、他の人とちよ

義、標準化、低コスト一辺倒なやり方起因するといえるのではないのでしょうか。二十一世紀は手作り化の時代といわれています。

足元を見つめる心

私はそこで皆さんに、もう一度、自分の足元を見つめて見ることをお勧めしたいと思います。今起きている世界規模の問題の多くは、身の丈を知らぬ、拡大主



文学部心理学科4年 水谷奈津美

『自分と向き合える機会』

私が旅行会社を受けようと思ったのは「本当に自分らしさを出して働ける仕事は何か」と真剣に考えた結果からでした。就職活動を始めたばかりの頃は、少しでも気になる会社にエントリーをして選考を進めることで精神的な安心を得ていたような気がします。しかしその時の私はただ流されるまま選考会場に足を運んでおり、本当に自分の将来を思って行動していたのかといえば、それは疑問でした。そこで一度立ち止まった時、学生時代、行く度に成長を感じた海外旅行での経験が何よりも早く浮かび上がりました。自分をいい意味で変えられる海外経験を他人に提供できる旅行会社の選考では、自分の思っている心からの言葉が自然と出てきました。私は旅行会社に入ってから実現させたい一つの企画があり、少しでもその実現に近づきよう今から準備を進めていきたいと思っています。仕事を始めてからも目標があると無いのでは無いのかと思います。就職活動は嫌々やっていた結果はもちろん、自分自身も前進していきません。自分と向き合える、人生の中で大切な時期であり、自分を成長させられる良い機会です。現に私は就職活動を終えて、精神面においても非常に強くなれた気がします。この一年で身に付けた「挑戦する姿勢」は、今後も自分の中で何よりも大切にしたいことです。

就職体験記



商学部商学科4年 水野利政

『プロローグ～社会人への第一歩～』

アルバイトで接客の楽しさを知った私は、接客といえば百貨店業界だと思い、4年間お世話になったアルバイト先が名鉄グループだったため、「近くの名鉄から自分の行きたい名鉄へというテーマで名鉄百貨店を受けました。百貨店は女性の採用が多いことやお客様第一主義を目指すことで面接官をお客様と考え笑顔で取り組むなど、自分なりに全力投球しようと心がけました。セミナーでも質問などに答えることで、人事の方に名前を覚えていただくこともできました。しかし、何事にも苦労はつきもので、面接の前日に風邪をひき、風邪のまま面接を受けました。面接中は元気に振舞おうと思いつつも、風邪をひいていたにも関わらず、人事部長から「百貨店では声が大きいのも困る」と冗談を言われたことが印象的でした。その結果が内定につながったと思います。就職活動中、油断と諦めは禁物だと感じました。油断をすると痛い目にあい、途中で諦めを持つことでやる気がなくなり、どうでもよくなります。企業は必ず内定を出すという保障もなく、諦めず、最後まで逆転できることもあり、実際、最終面接が最後での逆転でした。これから就職活動を行うみなさん、参考にしてください。就職活動は社会人としての第一歩で、始まったばかりです。むしろこれからが大変だろうと思います。名鉄百貨店は今が変革期で、隣に負けないように、一人でも多くのお客様に満足していただけるよう、初心を忘れず取り組んでいきたいです。

就職体験記



経営学部経営学科4年 山口敦史

『就職活動と今後の道筋』

本当に何もかもやり方が分からず、友達から言われるがままにリクナビに登録しエントリーをするというのが私の就職活動の始まりでした。それから友達と名古屋ドームやレイナーホールなどの合同企業セミナーに参加するにつれ、「自分自身が就職するんだ」という実感が湧き、いつのまにか学校で開かれる企業セミナーなど、自分の足で今後働く企業を探し出していました。自分の働きたい仕事から、様々な企業を同職種2社ずつ受けていきました。すると会社説明会などでその企業の方針などが自分に合っているの分かり、最終的に自分の行きたい企業が絞られていました。そして面接が進むにつれ、自己分析の甘さに気付き自分の事を上手く伝える事が出来ない事を知り、色々な角度から自分を見つめ直しました。私が重要だと思う事は、自分の長所、短所を把握する事、学生生活で何を学んだかという事です。自分では、長所、短所が明確に分らないので友達との会話などで見つけ出し、自信を持って学生生活で学んだ事と自分の長所をアピールしていくことが重要で、結果は必然とついてまいりました。これから就職活動をする三年生にアドバイスとして、自分を良く知る機会などめったにない事なので友達と励まし合い、競い合いながら自己分析し、自分のやりたい事を少しずつ理解していき、企業について知る努力を怠らなければ結果はついて来ます。最後まで諦めず「就社ではなく就職」。つまり、会社の規模やネームバリューではなく、仕事内容で自分の人生の半分以上を過ごす企業を見つけてください。

卒業生へ贈る言葉

皆さん、ご卒業おめでとうございませう。学生生活を終えて、これからは社会人としての第一歩を踏み出すこととなりますが、これまでに修得した様々な知識・技能・能力を活用して、



法学部長 若原 茂

皆さんが新入生の頃、法学の授業で、法と社会は密接不可分の関係がある、と話しました。皆さんも感じておられると思います。近年、日本の国はかなりの

勢いで変わりつつあります。憲法改正の動きがあるように、イラクの崩壊に伴い、国際化とか、国際貢献の名のもとに、戦後の日本国家を支えてきた理念や価値観が揺らぎ、これまでも人々の生活が国を超えて深く結びついていく時代になりつつあり、その調整が重要な課題になっていきます。どのような価値観が求められるか、個人が問われる時代になります。皆さんは、法学部で修得した様々な判断基準を応用して、新たな課題に取り組んでいく中で、この激動の時代を、法という物差しを使って、逞しく生き抜いていって下さい。大いに期待しています。

法という物差しで社会をみよう

知の匠として社会で活躍を



情報社会政策学部長 竹市 良成

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。皆さんは私共の学部の第三回生です。先輩である第一回生、第二回生につづき、皆様の努力のお陰で就職状況は、この不況下では良かったといえる結果となりました。それでもまだ若干の人々は未定のままとなっておりますが、卒業後も、何かお役に立つことがあれば、学部としてバック・アップする所存であります。どうか遠慮せず、ご相談ください。

今、社会は大きく変わろうとしています。特に情報通信の発展は驚くほどの速さです。皆様は私共の学部で、情報社会の旗手として活躍してください。折し、構築しなおして、人がより人間らしく、より幸福になれるようにするには、どうしたら良いのかを工夫し、社会に発信してください。社会が求めている一息入れて、新鮮な空気を吸うことも、人間を活気づけることでもあります。皆様が今年卒業し、皆様の心の故郷になるべく、今後も努力を重ねてゆきます。ゼミでお世話になった先生方は、皆様が卒業後も訪ねてきてくれることを心待ちにされております。翼を休めに、いつでも立ち寄ってください。最後に健康には十分気を付けてください。



歯学部 亀山 洋一郎

健康を増進させる歯科医をめざして

皆さん、ご卒業おめでとうございませう。皆さんはこれから歯科医学、歯科医療の分野で活躍されることとなりますが、自分の目標を定め、その目標に向かって全力で進んでください。

健康の維持や増進に繋がって可欠です。皆さんは歯科医師として、これから人々にとって生きがいのある人生に不可欠な口腔の健康、そしてそれを通して、全身の健康を維持するために役立ちたいと思います。皆さんは、この運動を大いに推進していただきたいと思います。最後に、皆さんの健康を心からお祈りいたします。

『夢をかなえるために』



法学部法律学科4年 松下 太地

私が警察官を目指したのは、人の役に立てる仕事がしたいという思いがあったからです。最近の公務員試験は受験者の数が増加しており、とても厳しい競争になってきています。公務員試験は、まず一次試験の学力テストに合格できなければ合格への道を切り開くことはできません。私は一次試験に合格するためにかなりの時間を勉強に費やしました。勉強嫌いな私が真剣に取り組むことができたのは、警察官になりたいという夢をしっかりと持っていたからだだと思います。真剣に勉強したおかげで、一次試験に合格でき、その後の二次試験も就職課の方々に面接の練習をしてもらったおかげで見事に合格し、警察官になることができました。私は、最後の二次試験を受けるまで自分は絶対に警察官になるという夢をあきらめませんでした。最後まであきらめずにやり抜くことはとても大切だと思います。これから就職活動を始める皆さんに伝えたいことは、まず自分が何をやりたいのかを早く見つけることです。やりたい事がはっきりしていないと就職活動にも力が入らないと思います。やりたい事が見つかったら、それに向かって自分なりのやり方で就職活動を進めていけばいいと思います。最後まであきらめなければ必ず良い結果がついてくるはず。夢を実現させるためにぜひ頑張ってください。



情報社会政策学部4年 山岡 里帆

『焦らずじっくりと』 私は学生時代、多くの友人に囲まれ、興味のあることには何でも挑戦してきました。その経験を、就職活動期にじっくり振り返り動機付けに結び付けられるようにし、説得力のある話題となりました。今となっては、どんなことでも全力で取り組み挑戦してきてよかったと思います。自己分析をしっかりと行うことで自分に自信を持つことができ、面接でもありのままの自分を見ることができました。就職活動の前半は漠然としか行きたい企業やどういった仕事かというのとはわからないと思いますが、積極的に動いて色々な企業のセミナーに出席し、肌で企業の雰囲気を感じた方が為になります。そして同じ大学、他大学に関わらず、就職活動をしている人と交流を増やすことが大切です。私は、たくさんの方のお話を伺って、偏った意見に惑わされないように気を付けました。だから、絶対この企業だというポリシーを持つことも重要だと思いますが、時には遠回りしながら柔軟に選んでいった方がよいのかもしれない。就職活動を終えた今、自分の人生の中でごく充実していた気がします。説明会や面接も刺激的だったし、就職活動を通じてできた友人と語り合ったりと、色んな人に会って話せるチャンスに恵まれたことも要素なのですが、何よりも活動を通じて「考える時間」が増え、自分を見つめ直す切っ掛けになり、私自身を成長させる経験となりました。

<p>15年度 学位記授与式</p> <p>平成15年度学位記授与式で、贈られる「管長賞」「小出有三賞」「学長賞」の他、特別賞、努力賞、精励賞など各賞受賞者は次の通り。</p> <p>〔管長賞〕</p> <p>宗教学科 小鞠 慎太郎 心理学科 谷山 雅俊 歴史学科 瀬戸口 幸 国際文化学科 永井 芳治 日本文化学科 高木 麻里 商学科 水野 利政 経営学科 原口 雄一 法律学科 今野 和夫 情報社会政策学科 石川 友紀 歯学部 近藤 友紀 別大 齋藤 康二 二ヶヶ ショーン 学 科 短大 人間文化学科 澤田 朋美 短大 人間文化学科 伊藤 匡史</p> <p>〔学長賞〕</p> <p>宗教学科 吉田 裕子 心理学科 森 有佳 歴史学科 原 宏旭 国際文化学科 新野 香澄 日本文化学科 齋藤 由美子 商学科 安達 理恵子 経営学科 佐治 太志 法律学科 佐部 利誠 歯学部 奥村 翼 情報社会政策学科 波多野 裕子 留學生別科 齋藤 由美子 別大 齋藤 康二 二ヶヶ ショーン 学 科 短大 人間文化学科 岡田 典子</p> <p>〔小出有三賞〕</p> <p>宗教学科 鳴津 雅信 心理学科 菅沼 小枝香 歴史学科 近藤 日文 国際文化学科 小野 由希子 日本文化学科 近藤 美沙子 商学科 上間 加奈子 経営学科 小出 直宏 法律学科 遠藤 咲 歯学部 渡部 桃子 留學生別科 白 蓮杰 別大 齋藤 康二 二ヶヶ ショーン 学 科 短大 人間文化学科 筒井 理恵子 短大 人間文化学科 岡田 典子</p> <p>〔特別賞〕 経営学科 筒井 和也 〔努力賞〕 法律学科 宮坂 智賀 〔精励賞〕 短大 人間文化学科 稲熊 千恵子</p>	<p>健康を増進させる歯科医をめざして</p> <p>歯学部 亀山 洋一郎</p>	<p>法という物差しで社会をみよう</p> <p>法学部長 若原 茂</p>	<p>知の匠として社会で活躍を</p> <p>情報社会政策学部長 竹市 良成</p>	<p>卒業生へ贈る言葉</p>
---	---	--	--	-----------------

短大部卒業生へ



ヨーロッパを旅していると、教会や宮殿に奇妙な像をみかけます。それは大鎌を振りかざした骸骨風の男の像です。中世、近世のヨーロッパでは感染症、特にペストの流行で多くの人が死にました。そのため、人々は自分たちがいつ死ぬかもわからないという恐怖におののきながら生活しました。その恐怖の中で、彼らは、「時間」という怪物が自分たちの死期を

一分間

短大部 英語コミュニケーション学科長 羽多野 正美

決めていくに違いないと考えました。その結果、人々は「時間」を具象化し、その奇妙な像を生み出したのです。彼らは「時間」という骸骨男が大鎌を振り回して自分たちの首をはねにやってくるかと信じました。私は時々この骸骨男を思い浮かべます。しかし、骸骨男が首をはねてくるのではなく、自分たちの首をはねてくるのではありません。死に至るまでの時間の使い方、思いを馳せるのです。つまり、今の生き方のままあの骸骨男の首をはねられることになっても良いだろうかと思いをめぐらして、自分自身を振り返る一つの良い方法として、一分間の長い一分間の積み重ねが自分自身を疎かにできません。皆さんもときどき一分間目を閉じてみてください。幸多かれ！

セメスター制の導入

平成16年度から(歯学部除く)

■セメスター制
セメスター制とは、一学年複数学期制の授業形態をいいます。従来の本学で実施している通年制(ひとつの授業を一年間を通して実施)における前期・後期の区分とは異なり、ひとつの授業を学期(セメスター)ごとに完結させる制度で一年間を半期に区切り、春学期・秋学期と呼ぶようになります。

■履修登録
履修登録は、年二回(春学期開講科目は四月に、秋学期開講科目は九月)となります。

■授業科目
従来の通年開講科目(四単位)は二つに分割され半期(二単位)となります。科目名は、従来の科目名の後に「I」や「II」が付く科目や従来と科目名が全く変わる科目もあります。また、新たに開講される科目や開講されない科目もあります。

■試験方法
授業は半期完結型となるため試験は、春学期開講の科目は春学期定期試験、秋学期開講の科目は秋学期定期試験にてそれぞれ行い、成績を評価し単位を認定します。

■進級制度と修学指導
従来三年次に進級するときの進級要件48単位は変わっていません。セメスター毎に修得単位が不足している学生には、警告文書を送り修学指導を行います。

■卒業要件
卒業要件の変更はありません。専門教育科目にて科目名が変更になっていきますので、三月末配布の「履修要項」の「科目の新旧対照表」にて確認してください。

	1学年	2学年	3学年	4学年
4月～9月(春学期)	第1セメスター	第3セメスター	第5セメスター	第7セメスター
10月～3月(秋学期)	第2セメスター	第4セメスター	第6セメスター	第8セメスター

「第36回リーダーシップ・トレーニング」 大町セミナーハウスで2泊3日

2月25日から27日までの2泊3日の日程で、長野県大町セミナーハウスにおいて、各クラブ・サークルのリーダーを対象とした「第36回リーダーシップ・トレーニング」が、運動部48クラブ・文化部48クラブの学生96名、指導助言の教職員17名の、合計113名の参加により開催された。



セミナーハウス前で朝の体操

開講式で黒神穂・学生部長から「リーダーシップとは」と題して「各自がこの機会を活かし、クラブの指導をとるリーダーとしての力を高めてほしい。また、コミュニケーションの基本となるあいさつの重

要性を理解したうえで、クラブ活動・学生生活をおくるように」との、基調講演があった。全体講習会では、「じぶん」を採ろうー自我状態の把握ーを高田教養部助教授から、リーダーシップをとるために「クラブ内の人間関係を稲葉教養部教授、課外活動中の健康管理」「事故」を防止するため「小出教養部助教授からそれぞれ講習が行われた。2日目に実施されたテーマ別講習会では、筋力トレーニングとパフォーマンス(田畑商学部教授)、テーピング実技と緊急時の救急法(稲葉教養部教授、高田教養部助教授)、クラブの企画運営(原田法学部教授)、クラブの組織管理(宮原商学部教授、吉田商学部講師)、期待される社会人像ー就職活動の実際ー(村田

『最後まで諦めずに!!』



就職体験記
大岩佐知子
内定の連絡を頂いた時、嬉しいのと、信じられない気持ちが一杯で涙が止まりませんでした。幼い頃から憧れだった航空業界。私が本気で航空業界を目指し、活動し始めたのは一年生の十月頃でした。それからは募集の出る会社は全て受験するようにしていました。その間、ご縁がなく何度も悲しい思いをし、また自分に自信がなくなり、落ち込んだりもしました。その度に空港へ行き、自分の夢を再確認し次へと繋げていきました。また、自己分析をしていく中で今まで気付かなかった自分を発見することもできました。最も重要なことは、面接では自分の言葉で自分を表現することです。そしてプラスα自分らしさと最高のスマイル!!きっと熱意やありのままの自分が面接官の方に伝わると信じています。また、就職活動は精神的にも体力的にもタフであることが必要です。自己管理を充分にして常に万全な体制で試験に望んで下さい。今思うと、諦めずに受験し続けて本当によかったと実感しています。努力し、願い続ければ夢は必ず叶うという事を、私はこの就職活動中に確信として掴みました。目標を決めて、願い、行動あるのみです。皆さんも最後まで諦めず頑張ってください!!そして最後に、親身になって話を聞いて下さり時には厳しく指導して下さいました先生方、励まし応援して下さいました友人、最後まで暖かく見守って下さった家族、私を支えてくれた全ての人に感謝しています。

スピーチ コンテスト を開催

留学生別科

本学留学生別科で学ぶ、留学生たちのスピーチコンテストが、協賛いただいた日進市および長久手町国際交流協会関係者を招待し、12月22日、学院会館1Fホールで行なわれた。

留学生たちが体験した、日本での大学生活や、日本文化などについて、言葉を選びながら、日頃の日本語学習の成果を披露した。今回は、学長賞および別科長賞の他に、留学生を励ますために、地元の日進市および長久手町国際交流協会から、地元で生産されたお米が五キロずつ協会長賞として奇贈され、受賞者も大よる喜び。受賞者は次のとおり。

学長賞
「白国へのお土産」
何 書孔(J1)

別科長賞
「いつでも美しい空」
サーシャ(J1)

日進市国際交流協会長賞
白 蓮杰(J1)

長久手町国際交流協会長賞
陳 向陽(J3)



- 優秀賞
董 岑岑(J1)
鄭 碧風(J2)
侯 全平(J3)
王 潔水(J4)
- 特別賞(会場賞)
閻 瑾瑤(J1)
何 雅英(J2)
陳 大鋒(J3)
高 葉虫(J4)
- 優秀賞
片山 和男(心身科学部)
佐藤 祐造(心身科学部)
村松 喬(心身科学部)
- ▽助教
曾我 一正(法学部)
梶岡多恵子(心身科学部)
- ▽講師
杉本 一敏(法学部)
成瀬 佳子(歯学部)
宇野 智子(教養部)
豊田 哲郎(心身科学部)
長崎 大(心身科学部)
佐藤 孝至(歯学部)
- 「昇任」
平成16年1月1日付
▽教 授
多門 靖容(文学部)
荻輪 顕量(文学部)
長谷川 誠(歯学部)
- ▽助教
橋本 和佳(歯学部)
- ▽講師
友田 篤臣(歯学部)
宮前 真(歯学部)
天野優一郎(歯学部)
柴田 直樹(歯学部)
- 平成16年2月1日付
▽助教
コダマ・マドク・トラトリー
(情報社会政策学部)
- ▽講師
高濱 豊(歯学部)
川瀬 仁史(歯学部)
久保 勝俊(歯学部)
三谷 章雄(歯学部)
- 平成16年4月1日付
▽教 授
飯島 康道(経営学部)
- ▽助教
高橋 洋(法学部)
玉川 達雄(心身科学部)
- 「採用」
平成16年4月1日付

名誉教授称号授与

本学教授会は、平成16年3月31日付で定年退職を迎えらる、赤池憲昭文学部客員教授他4名と、平成15年8月31日付で退職された、故松本直義教養部教授に、4月1日付で名誉教授の称号授与を決定した。



赤池 憲昭

文学部客員教授

赤池教授は、昭和44年東京大学大学院人文科学研究科宗教学専攻博士課程満期退学。昭和45年本学文学部講師として赴任され昭和55年文学部教授。平成元年より平成4年まで文学部長、平成4年より平成12年まで教務部長。また、日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員、大学基準協会判定委員会文学系第二専門分科会委員、同協会判定委員会人間科学系専門評価分科会委員、同協会判定委員会文学系第三専門分科会委員など、を務められ、我国の教育行政に尽力された。

さらに学外においても日本宗教学会評議員となられるなど、学内外において学問研究の発展・教育行政の振興に多大の貢献をされた。

川口 豊造

歯学部教授

川口教授は、昭和34年東京医科歯科大学歯学部卒業。昭和46年本学歯学部歯科補綴学助教授として赴任。昭和50年歯科補綴学第二講座教授。歯学部附属病院長、歯科技工専

文学部開設当初より「宗教科教育法」を担当され、教育方法論の樹立を目指し、人間形成に資する時処位に拘らない普遍的原理とも云うべき面に留意して説き示され、多大な功績を残された。



今光 廣一

商学部客員教授

今光教授は、昭和23年名古屋経済専門学校(現名古屋大学経済学部)を卒業。昭和36年本学商学部助手、昭和47年教授となる。学内においては、商品学研究所長および流通科学研究所長を務められ、学外でも、日本商業学会常任理事、日本物流学会理事、日本広告学会理事、日本商品学会理事など、多くの要職を歴任された。



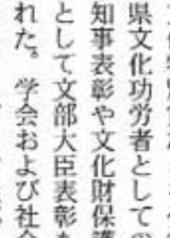
長谷部 幽蹊

教養部客員教授

長谷部教授は、昭和38年駒澤大学大学院人文科学研究科佛教学科専攻博士課程を修了。昭和40年、本学専任講師として赴任され昭和50年教授、36年間の永きに亘り教育、研究活動のほか、図書館長も歴任されるなど、献身的な活躍をされた。研究分野は二つに分かれ、中国仏教と他のひとつが宗教(仏教・禅)教育である。

「明清時代における禅仏教の禅宗教団史」が専門。これらの研究は、海外の学術雑誌・研究者人名録類において高く評価されている。また、

その後、近世名古屋商人の研究を中心に、尾張藩あるいは名古屋の歴史についても幅広く研究を続けられ、尾張藩法制史研究の第一人者でもある。



故 松本直義

教養部教授

松本教授は、昭和33年日本体育大学体育学部を卒業、同年、愛知高等学校教諭を経て、昭和59年教養部教授。松本教授の研究は、ひとつは、体操技術の変化、徒手体操の正確動作の効用等、体育的方法的研究分野、他の一つは特に学生の体力・健康に関する研究分野が中心となつて

いる。これらの研究は、所属学会である日本体育学会と日本教育医学会において発表され教育医学会において高く評価されており、「催眠誘導法」により選手への「アガリ」の除去を図り効果を挙げるとともに、また、課外活動においても、これらの研究が活かされ、体操競技部、スキー部の部長として、部員の指導に情熱を傾注された。

林 董一

法学部客員教授

林教授は昭和34年名古屋大学大学院(旧制)修了。昭和41年本学法学部教授、日本法制史担当。

専門は、徳川時代の尾張藩の法制史、とくに尾張藩の藩主、家臣、官制、裁判、法源、刑法等の公法史で、京都大学から法学博士の学位を取得さ

卒業証書授与式 特別表彰

卒業証書授与式において、4年間の学生生活が他の学生の模範であるとして、特別表彰が次の3名に授与される。



簡井 和也(経営学科)

硬式野球部で左腕投手、愛知大学野球リーグ戦で、入学以来24連勝、通算29勝を挙げ優勝の原動力となる。全国大会で8連続奪三振の快投が光る。阪神タイガースに入団。

努力賞 宮坂 智賀(法律学科)



稲熊千恵子(短大成人学)

昭和37年生。主婦、3人の子の母親、家業の理容店を手伝うとともに学業でも優秀な成績を収めた。

課外活動「判例研究会」でも活躍。卒業後も大学院法研聴講生。

昭和26年生。昼間は会社員として業務、夜間は短大生として精励。主婦、2人の子の母親でもある。

精励賞 稲熊千恵子(短大成人学)



佐藤悦成教授

佐藤教授は、昭和25年愛知県生まれ、駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻博士課程を修了。昭和58年愛知学院短期大学講師、平成9年愛知学院大学文学部教授。専門は禅学。

学位

服部隆行氏



服部隆行氏

服部隆行氏は、平成9年本学大学院文学研究科歴史学専攻博士課程満期退学。博士論文題目は、「朝鮮戦争と中国」-建国初期中国の軍事戦略と安全保障問題の研究-で中国が、建国当初より、

平成16年度から新設 開学50周年記念奨学金給付規程

(設立及び名称) 第1条 愛知学院大学開学50周年を記念して奨学金制度を設ける。

(目的) 第2条 この規程は、愛知学院大学(大学院を含む)、愛知学院大学短期大学部、愛知学院大学歯科理工専門学校、愛知学院大学歯科衛生専門学校(以下「本学」という。)に在学する学生で、学業成績優秀にして、経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学金を給付することを目的とする。

(出願資格) 第3条 奨学生に出願しようとする者は、次の要件を備えていなければならない。(1)学業成績優秀にして、経済的理由により修学困難と認められること。

(出願書類) 第4条 奨学金の給付を受けようとする者は、本学所定の願書に次の書類を添付して、保証人連署のうえ、学生部学生課を経て学長に願出なければならぬ。(1)成績証明書 (2)所得等の各種証明書(学費支弁者) (3)その他本学の指定する書類

(選考方法) 第5条 奨学生は、選考委員会にて選考し、代表教授会の議を経て理事会において決定する。

(給付期間) 第6条 奨学金の給付期間は、当該年度限りとする。

(給付額及び給付方法) 第7条 給付額及び給付方法は、別に定める愛知学院大学開学50周年記念奨学金給付規程施行細則による。

(返還) 第9条 奨学生が次の各号の一に該当したときは、選考委員会にて審議し、奨学金の返還を求めなければならない。(1)学籍異動等により受給資格を失ったあとに給付されたことが判明したとき。(2)不正な手段により給付を受けたことが判明したとき。(3)その他本学が必要と認めるとき。

(改廃) 第11条 この規程の改廃は、代表教授会の議を経て、学長及び理事会の承認を得るものとする。

別に定める愛知学院大学開学50周年記念奨学金選考委員会規程による。

第8条 奨学生が次の各号の一に該当したときは、選考委員会にて審議し、代表教授会の議を経て学長及び理事会の承認の後、奨学金の給付を停止又は取消するものとする。(1)退学、除籍等により学籍を離れたとき及び休学したとき。(2)その他奨学生として適当でないと認められたとき。

第10条 この奨学金に関する事務主管は、学生部学生課とする。

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

